損保ジャパン記念財団 NEWs

SOMPO JAPAN FOUNDATION

●2013年度　ＮＰＯ基盤強化資金助成　助成先の決定、贈呈式を開催
●2013年度　自動車購入費助成　贈呈式を開催
●2013年度　海外助成　助成先の決定
●第15回損保ジャパン記念財団賞の決定
●助成先訪問

発行者
公益財団法人損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sj-foundation.org/　Eメール：sjf3340@sj-foundation.org

2013年度 Vol. 3

2013年度 NPO基盤強化資金助成 助成先の決定、贈呈式の開催

NPOの活動基盤強化に必要な資金を支援する事業「NPO基盤強化資金助成」の助成先を39団体（1,480万円）に決定しました。
本年度は、従来の「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成に加え、「認定NPO法人取得資金」の助成を新設しました。

1．「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成先決定

募集の対象を中部地区、近畿地区として、2013年10月から11月にかけ公募したところ、118件の応募をいただきました。団体の基盤強化に大きく貢献すること、地域課題の解決に大きく貢献することなどを選考基準として、下記記載の19団体に総額880万５千円の助成を決定しました。

※なお、主に子ども（障害児など）に関する福祉事業を行っている６団体（下表団体名に★）への助成金には株式会社損害保険ジャパンの社員有志の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」の200万円の寄付が含まれています。

都道府県	団体名	助成対象事業	助成金額（万円）
新　潟	特定非営利活動法人 NPO法人にいがた・オーティズム	施設トイレ改修工事	20
富　山	特定非営利活動法人 ゆうきの会おやべ	広報活動設備の充実による障害者理解促進事業の基盤強化	50
岐　阜	特定非営利活動法人 プラス・ワン	エムプラス（就労継続支援A型事業）開設準備事業	50
静　岡	特定非営利活動法人 フレンドシップ・イルカ	新築にともなう事務室整備	50
静　岡	特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター	自立した市民になるための「依存力」を支える各種情報サイトの強化	28.5
愛　知	特定非営利活動法人 MotherKitchen	高校ランチ革命（配食事業のうち、特に高校生を対象にしたもの）	50
愛　知	特定非営利活動法人 共育ネットはんだ（★）	発達障害児の義務教育課程における「継続体験型キャリア教育」の基盤整備事業	50
愛　知	特定非営利活動法人 福祉工房あいち	福祉用具の開発と自助具普及事業	50
三　重	特定非営利活動法人 南勢子どもの発達支援センターえがお（★）	教材・教具の充実事業	50

都道府県	団体名	助成対象事業	助成金額（万円）
滋　賀	特定非営利活動法人 あめんど（★）	支援環境の普及および支援者育成事業	50
京　都	社会福祉法人 エクスクラメーション・スタイル・キョウト	新設された社会福祉法人の新しい情報発信・サポーター開拓事業	42
京　都	特定非営利活動法人 Salut	ホームページ改修事業	50
大　阪	特定非営利活動法人 NPOかんなびの丘	支援者獲得プロジェクト	50
大　阪	特定非営利活動法人 音楽サポートネット音結（★）	音楽療法　人材育成事業	50
兵　庫	特定非営利活動法人 NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ（★）	女性やシングルマザーと子どもたちの居場所ーWACCAの運営事業	50
兵　庫	特定非営利活動法人 すまいるHimeji	よい野菜作りのための備品購入事業	40
兵　庫	特定非営利活動法人 アスロン（★）	アスロンスポーツランド	50
奈　良	特定非営利活動法人 自立支援ステーション　ぽかぽか	点字印刷部門の強化と、事業所の周知	50
和歌山	特定非営利活動法人 白浜レスキューネットワーク	認定NPO法人取得に向けた組織の基盤強化事業	50

2．「認定NPO法人取得資金」助成先決定

日本全国の社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人を対象に公募したところ、81件の応募をいただきました。地域課題解決への貢献度、認定取得に対する取り組みの進捗、「認定NPO」の活用方法などを選考基準として、下記記載の20団体に１団体30万円、総額600万円の助成を決定しました。

都道府県	団体名	団体の主な活動内容
北海道	特定非営利活動法人 ともに	障害者就労支援
北海道	特定非営利活動法人 シーズ・ネット	地域交流サロン事業・孤立死防止・地域連携ネットワーク事業
宮　城	特定非営利活動法人 JETO（ジェット）みやぎ	宮城県内の震災孤児に対する支援
宮　城	特定非営利活動法人 移動支援Rera	被災地（石巻圏）の移動支援
福　島	特定非営利活動法人 ふくしま成年後見センター	福島県における成年後見制度の普及・啓発
福　島	特定非営利活動法人 キャリア・デザイナーズ	フリーター・ニート等の就労支援、若者自立支援
群　馬	特定非営利活動法人 ハートフル	障害者支援
千　葉	特定非営利活動法人 スマイルクラブ	障害のある子どもも参加できるスポーツ教室
東　京	特定非営利活動法人 PADM	難病の研究支援・開発推進事業、自立支援事業
東　京	特定非営利活動法人 DPI日本会議	障害者に関わる施策の政策提言、調査研究
東　京	特定非営利活動法人 プレーパークせたがや	プレーパーク・「屋外型」子育て支援

都道府県	団体名	団体の主な活動内容
東　京	特定非営利活動法人 自立生活サポートセンター・もやい	「経済的貧困・孤立状態にある」人々の支援
神奈川	特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ	CAP（子どもへの暴力防止）プログラムの提供・DV予防啓発
愛　知	特定非営利活動法人 すけっとファミリー	居宅介護支援事業
大　阪	特定非営利活動法人 プール・ボランティア	障害児・者がプールを楽しむ支援
兵　庫	特定非営利活動法人 NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	DV被害女性と子どもの支援
島　根	特定非営利活動法人 まごころサービス松江センター	介護・介助・子育てサポート事業
高　知	特定非営利活動法人 高知いのちの電話協会	電話による自殺防止
熊　本	特定非営利活動法人 NPO法人　NEXTEP	不登校児のサポート、小児在宅支援
熊　本	特定非営利活動法人 とら太の会	障害児・者の自立支援、相談事業

3．贈呈式の開催

首都圏、中部地区、関西地区の贈呈先にお集まりいただき基盤強化資金助成の合同贈呈式を開催しました。

首都圏贈呈式

［１月30日損保ジャパン本社ビル（東京）で開催］





●東京、千葉、神奈川、静岡の団体が参加



中部地区贈呈式

［２月５日損保ジャパン名古屋ビルで開催］





●岐阜、愛知、三重の団体が参加

関西地区贈呈式

［２月６日損保ジャパン大阪ビルで開催］





●大阪、兵庫、滋賀、京都、奈良の団体が参加

2013年度　自動車購入費助成　贈呈式の開催

損保ジャパンの各地区本部または支店で助成金の贈呈式が開催されました。

【札幌支店】

＜特定非営利活動法人　iCareほっかいどう＞

●11月15日に、損保ジャパン札幌支店長川瀬さんが団体を訪問し、贈呈式を開催しました。
「患者さんがベッド上で使うパソコンとそれを支える機材を乗せて、道内各地からの訪問依頼に応えることができます。」と大変喜ばれていました。（11月15日札幌支店長川瀬さんと訪問）



損保ジャパン札幌支店・尾田智明さん
当社の社員として助成金制度は知ってはいましたが、実際に助成先を訪れ利用される方とお話することで、助成金がどのように役立っているのか実感する貴重な体験をすることが出来ました。

＜特定非営利活動法人　あ・りーさだ＞

●夕張の廃校を使って障害者スポーツの普及活動を通して、すべてのひとが、笑い会える社会づくりを目指しています。
贈呈式では代表理事の正木さんが「雪の季節も、除雪車を荷台に乗せて、広い校庭を整備することができます。車の購入費はもちろんありがたいが、NPOの活動を東京の財団が評価し、応援してくれたことが何よりうれしい。」と笑顔で話されていました。　（11月７日札幌支店長川瀬さんと訪問）



【山形支店】

＜特定非営利活動法人　アジェンダやまがた＞

●「山形市内だけでなく遠方の子ども達も音楽教室に参加しやすくなる。」と喜んでおられました。　（12月３日山形支店長浦山さんと訪問）



【西東京支店】

＜特定非営利活動法人　アダージョ＞

●自分達でつくった製品の販売会、古紙回収や運搬、バザー品の回収などに使われます。「早く新しい車に乗って施設外作業に行き作業したい。」と笑顔で話されていました。

（12月26日西東京支店長永井さんと訪問）





【栃木支店】

＜特定非営利活動法人　海がめ＞

●車は早速「コアラのマーチ号」と名づけられ、手作りスイーツの販売に活躍しています。贈呈式は利用者やOBの皆さんが企画し、損保ジャパンの栃木支店長花島さんが参加して開催されました。
「今まで遠くて断っていた販売先にも、出かけられる。」と皆さんに喜んでいただけました。

（11月13日栃木支店長花島さんと訪問）





損保ジャパン栃木支店・金子祐梨子さん
今回の贈呈式開催の準備をする中で、恥ずかしながら初めて損保ジャパン記念財団が『社会福祉助成金助成』をCSR活動の一環として行っていること知りました。実際に贈呈式に参加し、「海がめ」の皆さんの笑顔を見て、弊社の活動の素晴らしさを感じることができました。皆さんが作ったクッキーもおいしくいただきました♪コアラのマーチ号を可愛がって頂き、より多くの方の就業支援活動に繋がることを願っています。

【千葉支店】

＜特定非営利活動法人　NPO法人カフェ・バルコニーの家＞

●住宅街にある隠れ家的レストラン。ご近所とのおつきあいを大切にされていて、調理も接客も利用者が行い、調理師受験資格を得ることも出来るそうです。

「カフェ・バルコニーの家」通信に載せていただきました。　⇒



（２月13日千葉支店部長山口さんと訪問）

【長野支店】

＜特定非営利活動法人　おはな＞

●「おはな」はハワイ語で家族の意味。「日々、地域の皆さんが家族のように助けて下さりここまでやってこれました。」と代表の言葉通り、地域の自動車販売店さんに、助成金額に合わせた素敵な一台を探して頂いたそうです。「今まで職員の車を交替で使ってきました。おはなの車ができ、毎日同じ車が学校にお迎えに来ることで、子どもたちは安心して帰ってこられます。補助者が一緒に乗れるのも安心です。」と話されていました。　（11月21日長野支店長北沢さんと訪問）



2013年度　海外助成　助成先の決定

ASEAN加盟国で社会福祉活動をする３団体に合計約267万円の助成を決定しました。

本年度は、スポーツプログラムを通じた自閉症の方への支援、子どもの教育と女性の収入向上による貧困からの脱出、カフェの運営を通じた障害者の自立支援などを目的とする下記の３団体に助成を決定しました。

国	団体名	助成金の使途	助成金額
シンガポール	Autism Association オーティズム　アソシエーション	スポーツを通じた自閉症の方の体力向上と自己規律（体調管理）プログラムの運営費用	（約100万円） シンガポールドル 12, 340
フィリピン	Salt Payatas Foundation Philippines, Inc ソルト・パヤタス	スラム（政府の再定住地モデル地区）にある児童館（子どもエンパワメントセンター）の改修による子どもの学習などの環境の整備費用	（約72万円） フィリピンペソ 300, 700
タイ	Foundation of Asia-Pacific Development Center on Disability（APCD） アジア太平洋障害者センター財団	カフェ（タイ社会開発・人間の安全保障省の敷地内）を通じた障害者の社会参加・就労促進事業	（約95万円） タイバーツ 300, 392

第15回損保ジャパン記念財団賞の決定

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第15回損保ジャパン記念財団賞」の受賞文献が、「反転する福祉国家ーオランダモデルの光と影」水島治郎氏（千葉大学 法経学部 教授）に決定しました。2014年３月18日に贈呈式を開催する予定です。

受賞者及び著者要旨を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。

また、2014年７月19日には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において受賞者による講演会とシンポジウムを開催する予定です。（講演会・シンポジウムについての詳細は、後日当財団ホームページに記載いたしますのでご覧ください。）

著書　「反転する福祉国家ーオランダモデルの光と影」
著者　千葉大学 法経学部　教授 水島　治郎 氏
出版　岩波書店2012年７月発行



＊＊受賞者プロフィール＊＊

1967年生まれ。
専門はヨーロッパ政治史・ヨーロッパ比較政治。
東京大学教養学部教養学科第三卒業。
同大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士（法学）。
ライデン大学客員研究員、甲南大学法学部助教授などを経て現職。

助 成 先 訪 問

特定非営利活動法人
なかよしねっと「なかよしかふぇ」

（埼玉県朝霞市・2012年NPO基盤強化資金助成先）





当財団のNPO基盤強化資金助成を受け、2013年10月にオープンした、障害者の働く場・社会参加の場としてのコミュニティカフェ「なかよしかふぇ」にお邪魔しました。朝霞市からも「地域活動支援センター事業」として指定され、学校卒業後も育ってきた地域の中で生活サポートができるようになりました。「かふぇ」では、慣れない接客やレジうちにチャレンジしながら、雑貨の製作や焼き菓子を作り、販売もしています。また、近くの農園の指導のもと、「かふぇ」で出た生ゴミを使った土作りをし、「かふぇ」で使う野菜を収穫することを目標に、農作業にも取り組んでいます。

また、なかよしねっとでは、「かふぇ」事業の他に、就学前の子どもが保護者と一緒に気軽に遊びにきて交流の場「おもちゃ図書館事業」と、小１～高３まで子どもたちが楽しく有意義に集団生活を過ごす「障害児放課後クラブ」も運営しています。３つの事業を同時スタートさせることで、長期的なビジョンで地域での生活を支える仕組みができるようになりました。理事の増田さんは「障害者が生まれ育った地域で自分らしく生活するために、現在の事業を安定的に継続させていきたい。」と笑顔で話されていました。

（訪問者：損保ジャパン記念財団・尾根　2013年12月26日）

☆★財団からのお知らせ★☆

◆銀鈴会の喉頭摘出者の歌による全国発声大会の開催に助成をしました。
◆全国ボランティアフェスティバル高知（2013年11月23・24日）で、広がれボランティアの輪連絡会議の一員としてブースの運営、分科会でお話しました。

R20 古紙配合率20%再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
このNewsはユニバーサルフォントを使用しています。